



# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2842回 例会  
プログラム  
鍼灸のいろは！  
No.2674 10月3日(木)

次週以降の予定  
10月10日(木) 議会改革について  
10月17日(木) 病院ボランティア表彰  
10月20日(日) 地区大会 早朝例会

## 第2841回 例会報告

2013年 9月26日(木)

### 会長挨拶・報告



皆さんこんにちは。本日も例会出席ありがとうございます。  
又、先週の9月18日(水)砂川ロータリークラブとの合同夜間例会に出席いただいた会員の皆様にもお礼申し上げます。

今週の月曜日、9月23日は秋分の日でしたが、今年は例年より寒暖の差が大きく朝晩気温が低い日が多いですが、会員の皆様におかれましては体調管理に充分お気をつけ下さい。

また、最近度重なるように報道されているJR北海道の問題ですが、危機管理について私ども自身も常に念頭におかなければならない問題と考えています。

以上、私どもの挨拶とさせていただきます。

### 幹事報告



- ①. 芦別・砂川RCより10月のプログラムが届いております。
- ②. 来週10月3日(木)は、第10回定例理事会を開催致します。役員・理事の方は、予定に入れて下さい。又、12月に担当例会をお持ちの各委員長さんは、事業実施計画書の提出をお願い致します。
- ③. 交通安全旗の波運動、9月30日(月)7時30分より東滝川観音像前12号バイパスで行います。ご参加下さい。

### 会員情報

芳村 元悟 会員

地域交流フォーラムのご案内。  
「故郷に生きる」と題して、10月9日(水)18時より太郎吉蔵にて岩手県大槌町 曹洞宗 吉祥寺住職 橋英悟氏と私、芳村との対談。第2部として大槌町の郷土芸能演舞を行いますので、多数の皆様お越し下さい。

## 先週のプログラム

### ■国際奉仕委員会担当例会■

#### ゲスト卓話



国際奉仕委員会 米倉 慎一 委員長

本年の国際奉仕委員会は、ロータリー以外で地域に於いて、国際奉仕について積極的に活動されている団体・個人に対して、ご支援をさせて頂きたいという主旨で委員会は活動致しております。その中で、本年1月にベトナム・カンボジアに行って、奉仕活動をされた滝川高校の4名の生徒さんを迎えて、報告会をこれより行いたいと存じます。

ーベトナム・カンボジア  
スタディーツアーに参加してー



菊池 美帆 さん

今日は、ベトナムチョーライ病院、ツーザー病院視察、カンボジア地雷撤去活動視察、カンボジアSCSAセンター視察、そして滝川高校の卒業生である田中千草さんが勤めているカンボジアワットポー小学校での交流活動について報告したいと思います。

最初にベトナムの病院視察についてです。今回私たちはベトナム、ホーチミン市内にあるチョーライ病院で、青年海外協力隊理学療法士隊員として活動する帯広市出身の渡 さんのもとを訪ねました。実際に院内に入ってみて感じたことは患者さんやその家族など、とにかく人が多いということ、私が想像していた日本の病院とは雰囲気異なり怪我をした人等で溢れていました。患者数もベッドの数に対して170%となっており、廊下で休んでいる人も見られました。

次に、ツーザー病院平和村についてです。ツーザー病院平和村は、ベトナム戦争時散布された枯れ葉剤などの影響で神経障害、運動障害をもつ子どもたちが自力で社会生活できるように支援することを目的とし、1990年に設立されました。現在では約50人の枯れ葉剤などの影響を受けた人がここで生活しています。日本が分離手術の協力を行ったベトさん・ドクさんのドクさんもここでスタッフとして働いていました。枯れ葉剤は実際に枯れ葉剤をあびた人、枯れ葉剤が撒かれた土地で育った作物を食べた人、魚を食べた人などの体に有害物質であるダイオキシンを取り込ませ、親子何代にもわたって影響を与え続けています。戦争終結からまもなく40年、もう影響は出ていないのでは、と思う方もいるかも知れませんが、枯れ葉剤の影響はまだまだ終わっていません。このことは平和村のスタッフの方も現地ガイドさんも私たちに強く訴えていたことでした。

私はこのツアーを通して、戦争などの暗い部分を学ぶと共に、出会った人々の温かさや多くの笑顔に触れ、私は忘れかけていた一番重要な事である人間同士の繋がりの大切さやたくさんの優しさに気付かされました。そしてそれらを気付けさせてくれた人々の役に立ちたい、と考えるようになりました。将来はJICAなどの海外協力に関係する仕事に就き、開発国の人達が安心して暮らせる生活を実現していきたいです。そして私の手で世界の を深めていきたいです。



谷 健太 君

私は、カンボジアの地雷処理について報告をします。

まず、みなさんは「カンボジアの地雷」と聞くとどんなイメージが浮かびますか？私は現地に行く前までは「カンボジアは至る所に地雷があって、注意して歩かないと誤って地雷を踏んでしまうのでは」と思っていました。結論から言うと、そんな事はありません。現在のカンボジアには都市部はもちろんです、地方でも人が住んでいる場所に地雷はありません。しかし、人里離れた場所ではまだ地雷が埋まっています。カンボジアに埋まっているのは地雷だけではなく、不発弾も多く残っています。カンボジア国内の東側には不発弾、西側には地雷が多く存

在します。これらの地雷や不発弾はポル・ポト政権末期の1978～79年頃に集中して設置、投下されました。それから35年経過した今も地雷や不発弾が残ったままです。

最後に将来、私が地雷処理のような大きな国際貢献ができるかどうかは分かりません。これから、自分がどのような人生を歩んでいくかは分かりませんが、もし、自分にできる事があればできる範囲で積極的に関わっていききたいという考えをもつようになりました。まずは身近なボランティアにおいて、相手が何を求めているのか、常に相手がいる事を意識して活動していきたいと思っています。



京屋 佳歩 さん

私はカンボジアのワット・ポー小学校への訪問について報告します。ワット・ポー小学校は滝川高校OGで元青年海外協力隊員の田中千草さんが校長補佐として勤務している学校で、シェムリアップ市内でも有数の先進校です。学区外からも入学を希望する子供達が後をたたく、全校生徒5000人以上、教職員100名で、授業は、多くのカンボジアの学校がそうであるように、午前と午後の2部制で行われ



ています。この写真は朝礼の様子で、2部制なので全校生徒の半分が参加していましたが、それでも約2500名の生徒の人数の多さに圧倒されました。



安部 愛梨香 さん

私は、カンボジアのSCSAセンターの子供達とカレーを作った事は、ものすごく思いやりの気持ちを持っているという事です。私が、熱い鍋に近づいた時「お姉さんはあっち！」と言われ、「どうして?」と聞き返すと、「危ないから!」と言ってくれました。心配してくれたんだなと思い、自然と笑がこぼれました。沢山の人の協力で、無事にカレーが出来上がりホッとしましたが、それ以上にカレーづくりのお陰で、みんなと仲良くなれた事が何よりも収穫だと感じました。カレーは思いのほか好評で、日本から持ってきたお米10kgと人数以上の50人前のカレーは、あっという間に子供達の胃袋の中に消えていきました。私は、本当に作ってよかったなと思ったし、心から嬉しくなりました。センターの子供達と交流を終え、カンボジアは開発途上で日本と比べると、決して豊かとは言えない環境ですが、輝く子供達の笑顔を見て、心は日本の子供達よりカンボジアの子供達のほうが幸せなのではないかなと感じるようになりました。

このツアーを通して、日本にいたら、ただ漠然と過ごしていて当たり前前日常があり得ないくらい恵まれていることが身にしみてわかりました。そしてこの経験を通して、「人の為になる何かをしたい!」という気持ちが膨らみました。しかし、高校生の私に何ができるのか、やっぱり1人では何もできないかもしれないと堂々巡りを繰り返す毎日を送っています。

私は将来、看護師になりたいと考えています。たくさんの人達と出会って、たくさんの方々の笑顔に触れたい、その思いがとても強くなりました。カンボジアも日本も世界中どこでも、命の値は同じです。その平等な命の一つでも救いたいと思っています。それでは、最後の報告に移ります。ご清聴ありがとうございました。



滝川高等学校長 西村 耕司 様

本日は、このような素晴らしい例会に生徒共々、お招きいただきありがとうございます。また、高い倫理基準をもち、広く社会に奉仕する機関として重要な活動をされて

いますロータリークラブ様に敬意を表するとともに益々ご隆盛であることを祈念いたしております。本日、いただきました支援金につきましては、その趣旨に沿い、生徒達の国際教育と社会貢献に有効に使わさせていただきますことをお約束致します。

今後、ますます貴ロータリークラブ様が発展されますことをご祈念いたしまして、お礼とします。



## ニコニコBOX

### 中垣 陽一 会員

カンボジアゆめプロジェクト事業の支援の例会を終えて。

### 佐藤 佳朗 会員

滝川市民ゴルフ場チーム対抗戦で、1位になって。(西井・佐藤・末松・大竹メンバーで)

### 西井 勝明 会員

9月21日自動車学校ワイワイフェスタを成功裡に終了して。9月22日吉川なよ子職場対抗ゴルフ大会で佐藤佳朗選手がニアピン賞。9月24日秋の交通安全運動にロータリーの皆さんの参加をいただいて。

### 芳村 元悟 会員

地域交流フォーラム「故郷に生きる」のご案内をさせて頂きました。よろしく願い致します。

### 近藤 正孝 会員

一緒に旅行した仲間に来て感激しました。

### 五十嵐達明 会員

9月15日札幌市において、RC地区囲碁大会で団体戦に準優勝が出来て。

### 米倉 慎一 会員

担当例会を無事終えて。

会長／中垣 陽一  
幹事／鈴木 英光  
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30  
例会場●ホテルスエヒロ  
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16  
TEL(0125)22-3344  
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。